

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択	
授業科目名：				単位数：1単位		担当教員名：山畑昭司	
日本語表現Ⅰ				（半期）演習		担当形態：単独	
ナンバリング：1003							
授業の到達目標及びテーマ							
1. 保育者になるために必要な国語表現技術を身に付け、実践に生かすことができる。							
2. 多様な語彙や表現を知り、他者に伝えることを意識して文章を書くことができる。							
3. 自らの学びを言語化する「振り返り」を行うことで、学びの内省を図り、実践に生かすことができる。							
授業の概要							
二年後に保育者となることを想定し、どのような日本語力が求められるか考え、それらを意識した上で実践力を培う。また保育者に必要な漢字・敬語・文章表現の力を、繰り返し学習する中で身に付ける。							
授業計画				授業時間外の学習			
第1回：保育者に求められる日本語力とは				＜毎回1時間程度＞ ・復習を兼ねた、小テストに向けての学習			
第2回：辞書の使い方と辞書の面白さについて							
第3回：日本語検定 過去問にチャレンジ							
第4回：実習日誌に使う漢字（50問）							
第5回：漢字小テスト、敬語について（概要）							
第6回：漢字・敬語小テスト、敬語（尊敬語）							
第7回：漢字・敬語小テスト、敬語（謙譲語）							
第8回：漢字・敬語小テスト、敬語（会話文）							
第9回：漢字・敬語小テスト、間違いやすい漢字（50問）							
第10回：漢字小テスト、SNSと手紙の違いとは							
第11回：漢字小テスト、美しく丁寧な字の書き方							
第12回：表現を意識して学校宛に暑中見舞いを書く〔下書き〕							
第13回：表現を意識して学校宛に暑中見舞いを書く〔清書〕							
第14回：文章表現の基本							
第15回：実習日誌の意義と書き方のポイント							
定期試験：筆記							
授業の方法 講義と演習（ディスカッション・グループ活動）を組み合わせで行う。 小テストや、授業後に提出するプリントには、コメント等を入れて返却する。							
テキスト 『保育者になるための国語表現』田上貞一郎著、萌文書林							
参考書・参考資料等 適宜プリントを配布する。							
学生に対する評価 小テスト（20％）、提出物・発表（20％）、試験（60％）を判断して評価する。							
履修上の注意							
・主体的に学習に臨むこと。							
・出席と授業参画は当然のことと自覚しておくこと。							
実務経験の有無		有		実務経験		元公立中学校国語科教諭 元県教育局教育事務所国語科担当指導主事	
実務経験を活かした教育内容							
国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、日本語力の向上を図る。							